

討論の等案議の主な

平成26年度

一般会計補正予算

【議案内容】

当初予算に、予防接種の定期化に伴う水痘予防接種や高齢者肺炎球菌予防接種に係る経費、優良基礎雌牛整備事業費補助金、那須中学校進入路拡幅工事等に係る経費増のため、1億2970万円が追加され、総額190億3060万円とする。

【反対・深沢宏美議員】

税の徴収強化、なりすまし犯罪への不安など、税番号制システム整備改修費、自治体を「中心市」と「周辺市町村」に分け、相互連携を名目に、ゆくゆくは「中心市」へ、道州制を導入するための、八溝山周辺地域定住自立圏連携事業費負担金など住民本位とは言えず反対。

【賛成・荒木三朗議員】

本補正予算は、執行上極めて必要なもので、主に国、県の補助事業、土地改良事業費、消防設備工事、学校適正化に伴う整備事業の予算である。不要不急の補正ではないことを確認して賛成する。

集団的自衛権の行使を容認する閣議決定の撤回に関する陳情

(詳しくは21ページ参照)

【審査経過】

我が国を取り巻く安全全保障環境が厳しさを増していることを考慮すれば、集団的自衛権は、憲法9条のものと

りざりの解釈変更である。自衛権の発動については、新三要件に限定していることと、国内法の整備が必要であり、国会において十分な議論がされることなどから、不採択である。

【反対・深沢宏美議員】

集団的自衛権の行使容認を柱とする閣議決定の強行に国民の反対世論が多数を占め、内閣支持率も急落。戦後の経済成長も平和外交にあり、平和憲法を守り、世界に広めることが国民の利益の基本であり、集団的自衛権を

容認した閣議決定の撤回の意見書提出は採択すべき。

【賛成・大場宏雄議員】

日本は、日本国憲法前文及び第9条等により平和国家たることを世界に示してきた、しかし昨今、尖閣諸島、竹島等の領有問題、北朝鮮によるミサイル威嚇、拉致問題等、外国からの圧力が増大している。

そのような中で、国連憲章でも認められている集団的自衛権が閣議決定された。今後、付随する法整備も討議されると思うので、委員長報告に賛成する。

ぼろちよろ席



穂積 阿内善子さん

私は、那須町議会一般質問に興味があり傍聴に初めて参加させて頂きました。テレビで見ると質問はあまり実感がありませんでしたが、実際、身近な質問の中で、那須町は高齢化が進み、県内でも二番目に高く、65歳以上が8500人、町民全体の32.07%と聞きました。私もまもなくその年です。高齢者が住み良い町にしたいと思えます。また、若者定住促進の質問に対し、若者が帰ってこられない環境づくり、情報発信をしていないのが現状で、これから総合的な中で検討との回答でした。若い人達が帰って来なくなる工夫を早くして欲しいです。近年、学校の適正配置が問題になりましたが、少子化が進み小学校が適正化され我が子の母校も無くなりました。今回の傍聴に参加し、町の様子が少しわかったような気がしました。この議場で町の大事な事が決まっていくことを改めて感じました。女性の皆さんも議会傍聴へ参加することが必要だと感じました。他の議会等で、女性蔑視があり、心を痛める場面もありましたが、那須町ではそのようなことは無く、これからも注目していきたいと思いました。